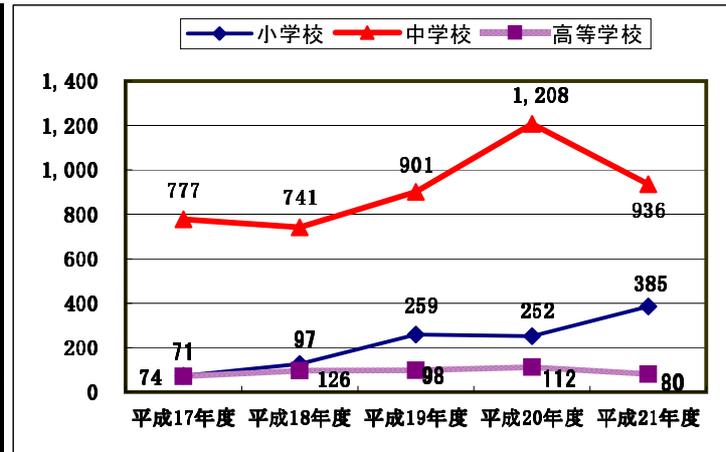


平成21年度 暴力行為の状況

※ 数値は公立小・中・高等学校

1 暴力行為の発生件数の推移

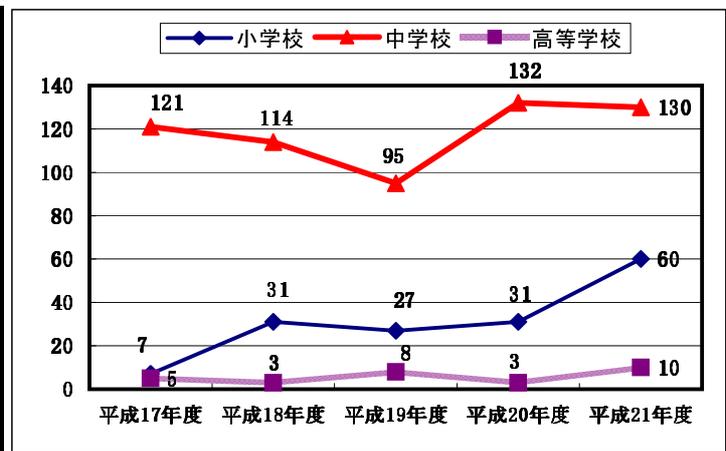
	小学校		中学校		高等学校	
	内	外	内	外	内	外
平成17年度	74		777		71	
平成18年度	126		741		97	
平成19年度	259		901		98	
平成20年度	252		1208		112	
平成21年度	385		936		80	
校内校外別	368	17	884	52	69	11



暴力行為のうち

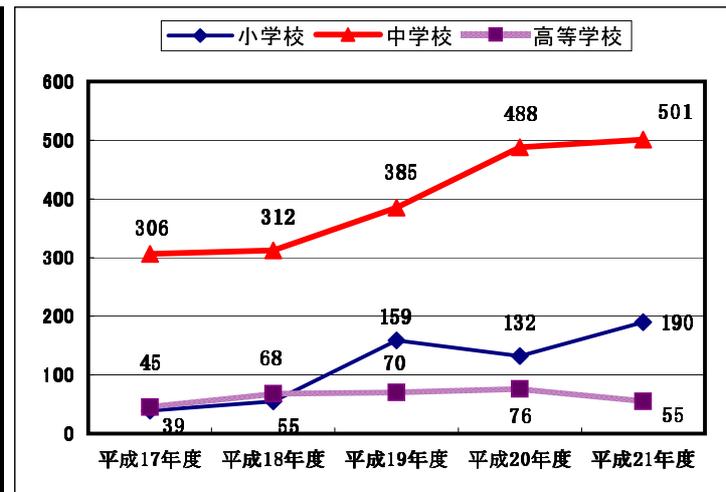
(1) 対教師暴力の発生件数の推移

	小学校		中学校		高等学校	
	内	外	内	外	内	外
平成17年度	7		121		5	
平成18年度	31		114		3	
平成19年度	27		95		8	
平成20年度	31		132		3	
平成21年度	60		130		10	
校内校外別	60	0	130	0	10	0



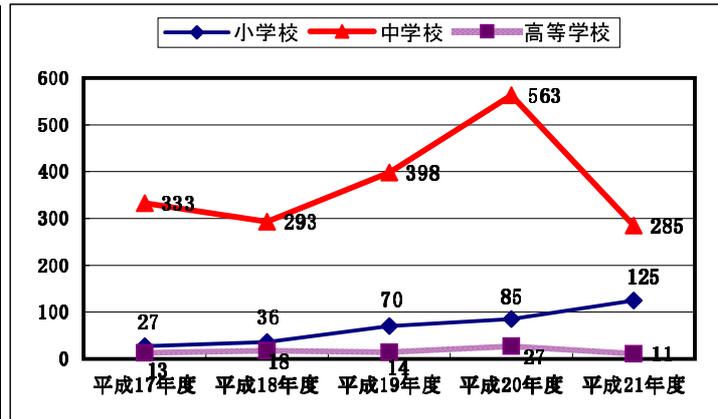
(2) 生徒間暴力の発生件数の推移

	小学校		中学校		高等学校	
	内	外	内	外	内	外
平成17年度	39		306		45	
平成18年度	55		312		68	
平成19年度	159		385		70	
平成20年度	132		488		76	
平成21年度	190		501		55	
校内校外別	178	12	469	32	48	7



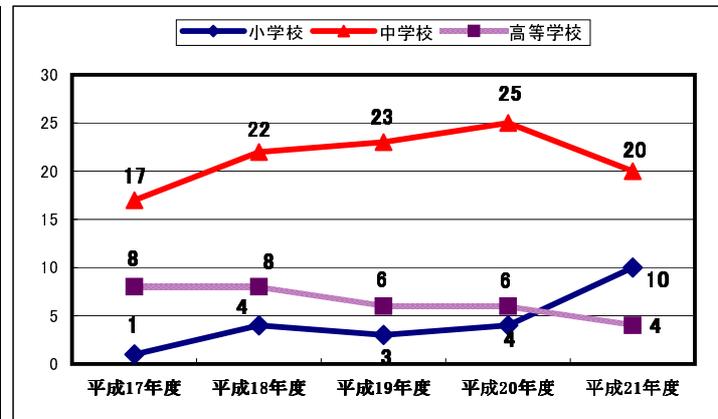
(3) 器物損壊の発生件数の推移

	小学校	中学校	高等学校
平成17年度	27	333	13
平成18年度	36	293	16
平成19年度	70	398	14
平成20年度	85	563	27
平成21年度	125	285	11



(4) 対人暴力の発生件数の推移

	小学校		中学校		高等学校	
平成17年度	1		17		8	
平成18年度	4		22		8	
平成19年度	3		23		6	
平成20年度	4		25		6	
平成21年度	10		20		4	
校内校外別	内	外	内	外	内	外
	5	5	0	20	0	4



2 全国との比較 (小・中・高合わせた1,000人当たりの発生件数)

	奈良県	全国
平成17年度	6.3件	2.6件
平成18年度	6.2件	3.1件
平成19年度	7.9件	3.7件
平成20年度	10.1件	4.2件
平成21年度	9.2件	4.3件

(国公立小・中・高等学校)

※ 平成18年度からの数値は、国公立小・中・高等学校の発生件数

これは、文部科学省調査の変更に伴うものであり、平成17年度までは、公立小・中・高等学校の発生件数を記載
(平成21年奈良県公立小・中・高：10.0件)

平成21年度 いじめの状況（公立小・中・高等学校）

1 いじめの発生（認知）件数

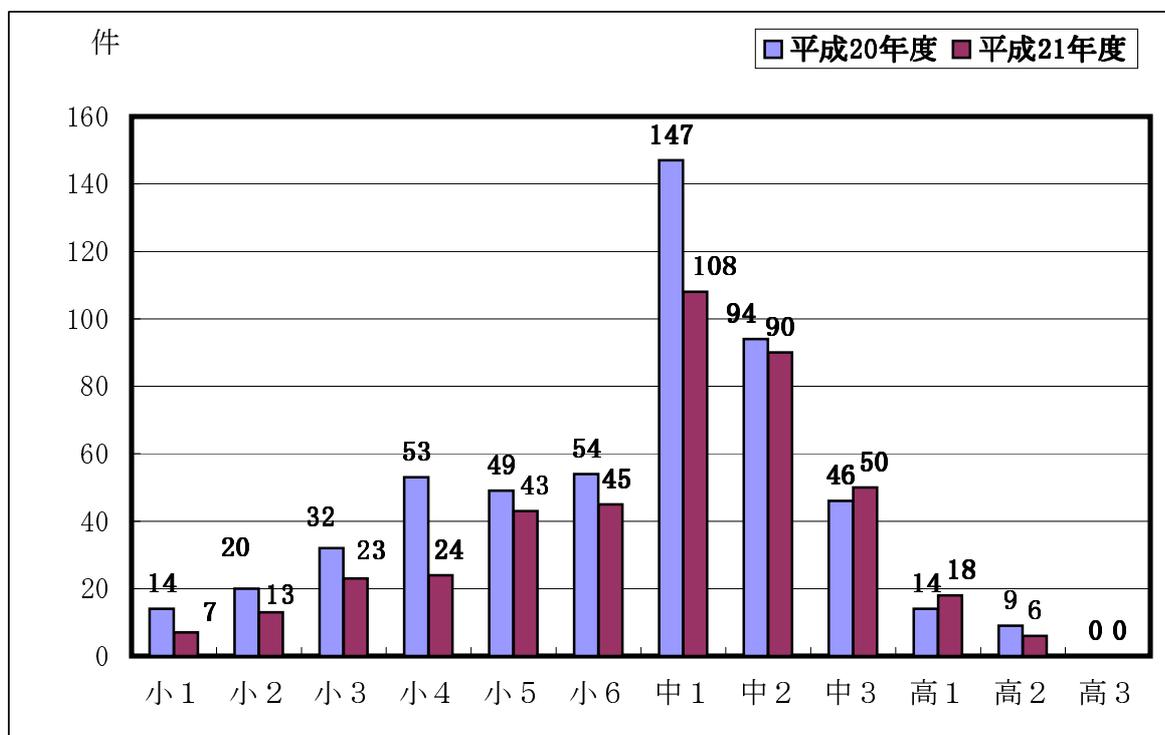
	小学校	中学校	高等学校	合計
平成17年度	48件	152件	19件	219件
平成18年度	472件	447件	118件	1037件
平成19年度	339件	328件	45件	712件
平成20年度	222件	287件	23件	532件
平成21年度	155件	248件	24件	427件

※ 国立・私立・特別支援学校は除く

※ H18年度調査から見直しが行われ、いじめの発生件数（「①自分より弱い者に対して一方的に、②身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、③相手が深刻な苦痛に感じているもの」）から、認知しているすべてのいじめの件数に変更された。

このことからH18年度はいじめの件数が前年に比べて大幅に増加した。この結果を受け、児童生徒から状況を聞く機会を設けるなど、個々の状況把握に努め、きめ細かな対応を行った結果、H19年度、H20年度と小中高ともいじめの件数が減少した。H21年度は小中ともいじめの件数は減少したが、高校は微増した。

2 学年別いじめの発生（認知）件数



3 いじめ発見のきっかけ

区分	年度	小学校		中学校		高等学校	
		奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
学校の教職員が発見	H21	31.0	53.9	46.0	45.5	25.0	48.7
	H20	39.2	55.1	39.0	46.4	30.4	50.3
内 学級担任が発見	H21	27.7	20.8	25.8	19.2	25.0	10.6
	H20	26.1	21.4	17.4	19.3	13.0	11.5
内 学級担任以外の教員が発見	H21	1.3	2.0	10.5	7.1	0.0	8.8
	H20	4.1	2.2	7.3	7.0	4.4	8.6
内 養護教諭が発見	H21	1.9	0.4	1.2	1.2	0.0	2.1
	H20	1.8	0.5	1.4	1.3	0.0	2.2
内 スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	H21	0.0	0.2	0.0	0.4	0.0	0.2
	H20	0.0	0.2	0.3	0.5	0.0	0.4
内 アンケート調査などの学校の取組により発見	H21	0.0	30.5	8.5	17.6	0.0	27.0
	H20	7.2	30.8	12.6	18.3	13.0	27.6
学校の教職員以外の情報により発見	H21	69.0	46.1	54.0	54.5	75.0	51.3
	H20	60.8	44.9	61.0	53.6	69.6	49.7
内 本人からの訴え	H21	20.6	18.9	25.0	28.5	50.0	31.3
	H20	18.9	19.9	27.2	28.2	52.2	30.0
内 当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	H21	29.0	18.8	19.4	16.8	8.3	9.6
	H20	22.1	16.8	17.1	16.3	13.0	10.8
内 児童生徒（本人を除く）からの情報	H21	12.3	4.1	3.2	5.6	8.3	7.1
	H20	14.0	4.4	6.3	5.4	0.0	6.4
内 保護者（本人の保護者を除く）からの情報	H21	6.5	3.8	6.0	3.0	0.0	2.1
	H20	5.8	3.3	8.0	2.9	4.4	1.7
内 地域の住民からの情報	H21	0.0	0.2	0.0	0.3	8.3	0.2
	H20	0.0	0.2	1.4	0.3	0.0	0.1
内 学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	H21	0.6	0.2	0.4	0.3	0.0	0.5
	H20	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.3
内 その他（匿名による投書など）	H21	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.4
	H20	0.0	0.1	1.0	0.2	0.0	0.4

※ 構成比は、各区分における認知件数に対する割合 単位：%

※ 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までとした。そのため、構成比で、合計が100とされない場合もある。

4 いじめの態様

区分	年度	小学校		中学校		高等学校	
		奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる	H21	40.4	66.2	40.2	64.9	41.4	57.5
	H20	42.6	66.0	42.9	63.6	43.3	59.7
仲間はずれ、集団による無視をされる	H21	14.7	23.9	20.2	19.6	17.2	16.0
	H20	19.9	24.5	14.5	20.9	13.3	16.4
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	H21	18.8	23.5	14.1	19.3	13.8	21.7
	H20	16.6	23.1	12.7	17.6	13.3	21.2
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	H21	5.5	6.1	4.6	7.5	3.4	9.4
	H20	4.0	6.0	7.0	7.3	0.0	8.6
金品をたかられる	H21	0.9	2.2	1.5	3.1	3.4	6.2
	H20	0.9	2.0	2.7	2.8	0.0	6.4
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	H21	8.3	7.7	7.4	8.8	0.0	9.1
	H20	6.7	7.7	6.0	8.9	0.0	8.8
いやなことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	H21	6.4	6.7	3.7	7.1	6.9	11.4
	H20	5.8	6.7	6.5	6.8	0.0	10.4
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる	H21	0.9	0.9	5.2	5.8	10.3	17.8
	H20	1.5	1.1	6.0	7.3	30.0	19.4
その他	H21	4.1	3.4	3.1	2.7	3.4	7.2
	H20	1.8	3.8	1.7	3.1	0.0	6.6

※ 構成比は、各区分における認知件数に対する割合 単位：%

※ 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までとした。そのため、構成比で、合計が100とされない場合もある。

5 いじめの解消状況

区 分	年度	小学校		中学校		高等学校	
		奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
いじめが解消しているもの	H21	75.5	81.7	85.5	77.2	66.7	79.6
	H20	77.5	82.8	79.8	77.0	65.2	77.2
一定の解消が図られたが、継続支援中	H21	17.4	14.3	13.3	17.1	16.7	12.0
	H20	15.3	13.6	12.5	17.1	13.0	13.2
解消に向けて取組中	H21	5.2	3.4	0.4	4.9	8.3	4.9
	H20	5.9	3.1	6.3	4.9	4.3	4.3
他校への転学、退学等	H21	1.9	0.7	0.8	0.9	8.3	3.5
	H20	1.4	0.6	1.4	1.0	17.4	5.3

※ 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までとした。そのため、構成比で、合計が100とならない場合もある。

6 学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

区 分	小学校		中学校		高等学校	
	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
職員会議等を通じていじめ問題について教職員間で共通理解を図った	84.3	89.3	86.0	91.0	76.2	74.5
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	93.1	88.6	90.7	89.4	76.2	53.3
児童・生徒会活動等を通じて、いじめ問題を考えさせたり、生徒同士の人間関係や仲間作りを促進した	55.6	57.6	63.6	62.2	38.1	30.7
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して相談にあたった	48.6	48.6	64.5	69.7	35.7	52.3
いじめ問題に対応するため、校内組織の整備など教育相談体制の充実を図った	69.9	66.4	73.8	69.1	57.1	52.3
教育相談の実施について、必要に応じて教育センターなどの専門機関と連携を図るとともに、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った	39.4	25.8	49.5	30.4	23.8	21.4
学校におけるいじめへの対応方針や指導計画等を公表し、保護者や地域住民の理解を得るよう努めた	21.3	22.5	25.2	22.9	11.9	14.2
PTAや地域の関係団体とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	19.0	17.9	9.3	18.5	0.0	7.8
いじめの問題に対し、地域の関係機関と連携協力した対応を図った	22.2	12.4	15.9	13.6	4.8	6.5
その他	3.2	2.0	1.9	2.0	2.4	4.9

※ 複数回答

(構成比 単位：%)

7 全国との比較

1校あたりの認知件数

区 分	小学校		中学校		高等学校	
	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
平成21年度	0.7件	1.6件	2.3件	3.1件	0.6件	1.0件
平成20年度	1.0件	1.8件	2.7件	3.4件	0.5件	1.2件

1,000人あたりの認知件数

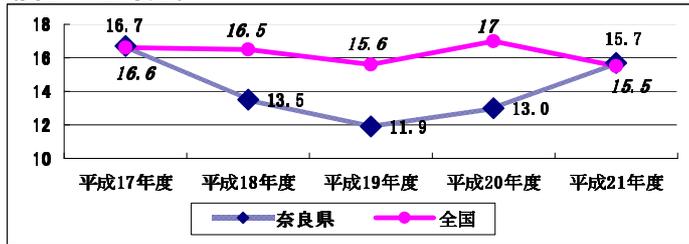
区 分	小学校		中学校		高等学校	
	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
平成21年度	2.0件	4.9件	6.8件	8.9件	0.9件	1.7件
平成20年度	2.9件	5.7件	7.9件	10.2件	0.8件	2.0件

(全国の数値は国・公・私立学校、奈良県の数値は公立学校の認知件数)

平成21年度 公立高等学校における長期欠席実態調査

1 1,000人当たりの不登校生徒数の推移(国立・公立・私立)

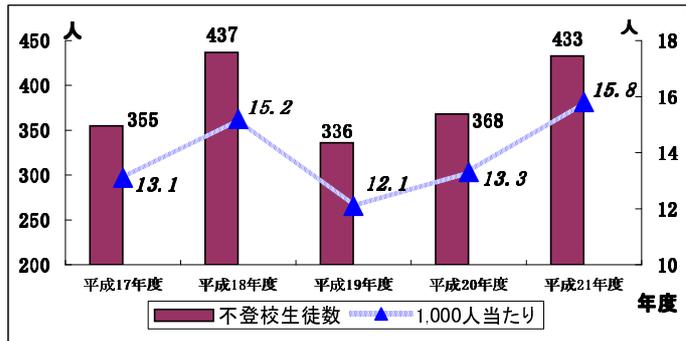
	奈良県	全国
平成17年度	16.7人	16.6人
平成18年度	13.5人	16.5人
平成19年度	11.9人	15.6人
平成20年度	13.0人	17.0人
平成21年度	15.7人	15.5人



2 奈良県の公立高校における不登校生徒の状況等

(1) 不登校生徒数の推移

年度	不登校生徒数等	高等学校
平成17年度	不登校生徒数	355人
	1,000人当たり	13.1人
平成18年度	不登校生徒数	437人
	1,000人当たり	15.2人
平成19年度	不登校生徒数	336人
	1,000人当たり	12.1人
平成20年度	不登校生徒数	368人
	1,000人当たり	13.3人
平成21年度	不登校生徒数	433人
	1,000人当たり	15.8人



(2) 理由別長期欠席者数

	在籍者数	理由別長期欠席者数				
		不登校	経済的理由	病気	その他	計
奈良県	27,416人	433人	22人	92人	173人	720人
	(比率)	60.1%	3.1%	12.8%	24.0%	100%
全国	2,341,781人	39,076人	2,213人	9,277人	13,513人	64,079人
	(比率)	61.0%	3.5%	14.5%	21.1%	100%

※「その他」の具体例

- ・保護者の教育に関する考え方、無理解・無関心から長期欠席している者
- ・家族の介護、家事手伝いなどの家庭の事情から長期欠席している者
- ・連絡先が不明なまま長期欠席している者
- ・欠席理由が2つ以上有り(例えば「病気」と不登校状態)、主たる理由が特定出来ない者

(3) 理由別長期欠席者数の不登校における前年度の不登校の有無(人)

区 分		1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	単位制	計	
奈良県	平成21年度不登校生徒数(人)	137	92	55	14	135	433	
	在籍者数 27,580人	うち20年度から継続(人)	25	42	35	12	95	209
		その他(人)	61	0	0	0	0	61
		比率(%)	31.6%	21.2%	12.7%	3.2%	31.2%	100%
全 国	平成21年度不登校生徒数(人)	12,009	9,570	5,956	628	10,913	39,076	
	在籍者数 2,353,979人	うち20年度から継続(人)	3,034	3,005	2,458	394	5,592	14,483
		その他(人)	2,443	375	225	26	1,290	4,359
		比率(%)	30.7%	24.5%	15.2%	1.6%	27.9%	100%

(4) 不登校となった直接のきっかけと考えられる状況(複数回答可)

		高等学校(人)	比率 (%)
学校生活に起因	いじめ	6	1.3
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	34	7.6
	教職員との関係をめぐる問題	1	0.2
	学業の不振	40	8.9
	進路にかかる不安	18	4.0
	クラブ活動、部活動等への不適應	2	0.4
	学校のきまり等をめぐる問題	13	2.9
	入学、転編入学、進級時の不適應	68②	15.2
家庭生活に起因	家庭の生活環境の急激な変化	10	2.2
	親子関係をめぐる問題	18	4.0
	家庭内の不和	19	4.2
本人に起因	病気による欠席	21	4.7
	その他本人にかかわる問題	136①	30.3
その他		14	3.1
不明		48③	10.7
計		448	

※ 比率は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までとした。
そのため、構成比で、合計が100とならない場合もある。

(5) 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数(人)

		奈良県	全国
中途退学	不登校生徒数(A)	433	39,076
	不登校生徒のうち中途退学に至った者(B)	143	12,394
	(B) / (A) (%)	33.0%	31.7%
原級留置	不登校生徒数(A)	433	39,076
	不登校生徒のうち原級留置に至った者(B)	45	4,255
	(B) / (A) (%)	10.4%	10.9%

平成21年度 県立高等学校中途退学者数(全日制)集計表

1 中途退学者数(学年別・事由別)

学校教育課

事由	学業不振	学校生活・学業不適應					進路変更	問題行動	小計	病気が	経済的	家庭事情	小計	合計	
		もともと高校生活に熱意がない	授業に興味がわかない	人間関係がうまく保てない	学校の雰囲気がない	その他									
学年	1年	17	38	12	6	11	15	127	1	227	5	1	0	6	233
	2年	5	2	3	4	3	8	61	0	86	8	1	2	11	97
	3年	0	1	1	0	3	2	19	0	26	1	0	1	2	28
事由別 中退者数	22	109					207	1	339	14	2	3	19	358	
事由別率	6.1%	30.4%					57.8%	0.3%	94.7%	3.9%	0.6%	0.8%	5.3%	100.0%	

2 事由別中途退学者数推移表

事由 年度	学業不振	学校生活	進路変更	問題行動	小計	病 気 け が	経済的 理由	家 庭 情 事	小計	合計	退学率 (%)	学年別			生徒総数
												1年	2年	3年	
平成10	5	243	318	6	572	23	15	34	72	644	2.00	406	194	44	32,201
平成11	17	193	290	10	510	20	11	32	63	573	1.79	348	186	39	32,075
平成12	14	246	281	17	558	13	12	11	36	594	1.86	361	183	50	31,932

事由 年度	学業不振	学校生活・学業不適応					進路 変更	問 題 行 動	小計	病 気 け が	経 済 的 理 由	家 庭 情 事	小計	合計	退学率 (%)	学年別			生徒総数
		も と 高 校 に な る 意 義 が あ ら な い	と 生 活 が あ ら ず な い	授 業 が あ ら ず な い	興 味 が あ ら ず な い	人 間 関 係 が あ ら ず な い										学 校 の 雰 囲 み が あ ら ず な い	其 他	1年	
平成13	16	34	39	1	88	96	270	2	546	18	17	18	53	599	1.94	380	185	34	30,853
		258														63.4%	30.9%	5.7%	
平成14	24	12	20	7	95	58	233	6	455	7	12	18	37	492	1.65	293	168	31	29,824
		192														59.6%	34.1%	6.3%	
平成15	28	10	36	7	105	66	237	13	502	13	14	13	40	542	1.87	351	162	29	29,010
		224														64.8%	29.9%	5.4%	
平成16	17	8	33	6	89	49	251	8	461	17	10	9	36	497	1.75	284	178	35	28,343
		185														57.1%	35.8%	7.0%	
平成17	20	21	50	4	66	41	193	4	399	11	12	8	31	430	1.59	253	146	31	27,080
		182														58.8%	34.0%	7.2%	
平成18	22	17	24	17	63	39	231	8	421	13	4	14	31	452	1.72	277	133	42	26,318
		160														61.3%	29.4%	9.3%	
平成19	28	16	18	29	71	36	251	5	454	12	4	12	28	482	1.89	318	135	29	25,438
		170														66.0%	28.0%	6.0%	
平成20	20	22	39	11	44	30	233	2	401	10	4	17	31	432	1.72	271	129	32	25,130
		146														62.7%	29.9%	7.4%	
平成21	22	41	16	10	17	25	207	1	339	14	2	3	19	358	1.44	233	98	27	24,866
		109														65.1%	27.4%	7.5%	

〔状況〕

1 暴力行為

暴力行為は、対教師暴力、生徒間暴力、器物損壊、対人暴力の4形態で調査している。本県における平成21年度の暴力行為は、小・中・高校を合計して、1,401件(前年度比171件減)であった。

小学校では385件(前年度比133件増)であった。形態別に見ると、対教師暴力60件(前年度比29件増)、生徒間暴力190件(前年度比58件増)、器物損壊125件(前年度比40件増)対人暴力10件(前年度比6件増)と、全ての項目において増加した。

中学校では、936件(前年度比272件減)であった。形態別に見ると、対教師暴力は130件(前年度比2件減)、生徒間暴力501件(前年度比13件増)、器物損壊285件(前年度比278件減)、対人暴力20件(前年度比5件減)と、生徒間暴力がわずかに増加したものの、対教師暴力と器物損壊、対人暴力が減少した。

高等学校においては、80件(前年度比32件減)であった。形態別に見ると、対教師暴力10件(前年度比7件増)、生徒間暴力55件(前年度比21件減)、器物損壊11件(前年度比16件減)、対人暴力4件(前年度比2件減)と、対教師暴力がわずかに増加したものの、生徒間暴力と器物損壊、対人暴力が減少した。

2 いじめ

平成21年度のいじめの認知件数は、小学校で155件(前年度比67件減)、中学校で248件(前年度比39件減)、高等学校で24件(前年度比1件増)となった。

いじめ発見のきっかけについては、小学校では、「当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え」が最も多く、次いで「学級担任が発見」となり、中学校では「学級担任が発見」が最も多く、「本人からの訴え」は2番目である。高等学校においては、「本人からの訴え」が最も多く、次いで「学級担任が発見」「当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え」「児童生徒(本人を除く)からの情報」「地域の住民からの情報」となる。

いじめの態様は、小・中・高ともに、「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる」が最も多い。2番目は小学校は「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする」、中・高等学校は、「仲間はずれ、集団による無視をされる」となっている。

いじめが解消しているものは、小学校で75.5%、中学校で85.5%、高等学校では66.7%であった。

参考 いじめの定義

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとする。

「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」とする。

なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

3 高等学校における不登校

本県における、平成21年度の公立高等学校における不登校の生徒数は433人で前年度より65人増加し、学年別では1年生が137人と最も多かった。さらに、不登校生徒の33%、143人(平成20年度133人)が中途退学している。

不登校の直接のきっかけについては、特に直接のきっかけとなるような事柄が見あたらない「その他本人に関わる問題」(注)が最も多く、次いで、「入学、転編入学、進級時の不適応」が多かった。

(注)「その他本人に関わる問題」とは、極度の不安や緊張、無気力等で他に特に直接のきっかけとなるような事柄が見あたらないもの。

4 高等学校における中途退学

平成21年度の県立高等学校（全日制課程）における中途退学者は358人で、前年度に比べ74人減少し、中途退学率も0.28ポイント減少し1.44％であった。

中途退学者の学年別割合では、1年生が65.1％、2年生が27.4％、3年生が7.5％であり、1年生では、前年度比に比べ8.8ポイント（38人）減少した。

また、事由別では、①進路変更57.8％（前年度53.9％）②学校生活・学業不適応30.4％（前年度33.8％）③学業不振6.1％（前年度4.7％）の順となっている。